秋田県障害者スポーツ指導者協議会

広報 チャレンジ!

平成26年3月20日発行
秋田県障害者スポーツ指導者協議会
〒010-0922
秋田市旭北栄町１番５号
（秋田県障害者スポーツ協会内）
TEL　018-864-2750
FAX　018-874-9467
E-mail：shidousha@akita-sports.jp

ごあいさつ

秋田県障害者スポーツ指導者協議会 会長　米山　隆

早春の候、会員並びに関係者の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また本協議会の運営につきましては、日頃から格別のご理解とご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

２０１３年９月７日、世界中の人々が注目！東京オリンピック・パラリンピック決定の時でした。大都市東京の中心で開催される大会は、世界中の人々を熱狂に駆り立てる素晴らしい祝祭となることを期待します。また障害者スポーツに携わる私たちに、うれしいニュースが届きました。３月開催されますソチパラリンピックに秋田県の高校一年生、江野麻由子さんがクロスカントリースキー女子代表になりました。本当に喜ばしいことと思います。２０２０年のパラリンピックに向け各競技団体でも大きな刺激になったのではないでしょうか。

さて、昨今　障害者スポーツの環境が大きく変わりつつある中で、障害者スポーツ指導員の役割が益々重要な位置づけとなってきたと考えられます。スポーツ基本法では、地域で障害の有る人もない人もスポーツが楽しめる環境整備がうたわれておりますが本協議会でも、会員相互の連携を密にし、各競技団体との連携を強化し障害者スポーツの普及・発展の寄与に務めたいと思っております。また、会員の活動の場を拡充するため、資質向上を目的とし、各講習会や研修会の参加を呼びかけ、スキルアップを図りながら、障害者スポーツ振興の一躍を担うことが出来ればと思っております。

平成２６年度には第１０回障害者スポーツ指導者全国研修会が東北ブロック（福島県、会津）で開催予定となっておりますので、皆様のご参加、ご協力を重ねてお願い致します。

最後に今後も本協議会に関係各位のご指導、ご協力をお願い致します。

障害者スポーツの振興のために

一般社団法人 秋田県障害者スポーツ協会　事務局長　船　木　　敬

昨年４月から障害者スポーツ協会の事務局を担当しております。いままで障害者スポーツに携わった経験もないことから不慣れな点もありますが、皆さまから様々な知識や情報をご教示いただきながら努めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

さて、本県では、スポーツを通じて秋田の元気づくりや地域の活性化を図るため様々な施策を展開しておりますが、私たち障害者スポーツに携わる関係団体もさらに協力しながら、新たな時代に向けて活動していく必要があるものと考えております。

また、２０２０年の東京オリンピック、パラリンピックの開催が決定し、日本中が大きな希望と歓喜の渦に包み込まれ、スポーツに大きな関心が集まっております。この盛り上がりを絶好の機会と捉え、６年後を目指した若い選手の育成や、障害者スポーツの振興策を積極的に推進して地元に刺激を与えたいと考えております。

障害者スポーツでは、地域でのスポーツ活動を支援するための環境作りと、スポーツの楽しさや喜びを、身近な障害者に伝えることができる指導員の育成が非常に重要なことであります。健常者のスポーツと比べ医学的、心理学的、または事故防止の方法などについて、特別の配慮を行う必要がある障害者スポーツを適切に進めるためには、これらに習熟した指導員が必要となります。スポーツを通じて障害者の健康増進を図るとともに社会参加を促進することは、障害者スポーツに携わる我々の大きな課題でもありますが、これを支える皆様指導員の果たす役割はさらに重要な位置を占めるものと考えております。

今後とも、障害者スポーツの振興・発展のため、協会と指導者協議会が車の両輪としてお互いに連携しながら各種の事業に取り組んで参りたいと思っておりますので、いままで以上に御支援、御協力をよろしくお願い申し上げます。

平成25年度　第1回 実技研修会

グラウンドゴルフに挑戦

五月晴れに恵まれた５月１８日の午後、遅咲きの桜が満開の秋田県勤労身体障害者スポーツセンターのグラウンドで、第１回実技研修会が開催されました。

今回は、当協議会の会員でもあり、秋田市スポーツ推進員の高橋次男氏を講師に「グラウンドゴルフ」競技を対象とした内容で研修会が開催されました。競技方法やルール説明等を学びました。説明の中でグラウンドゴルフの特徴は他のスポーツに比べ、ルールが簡単な事、高度な技術を必要とせず、時間の制限もなく誰でも手軽に楽しめるスポーツである、とのことでした。プレー方法は専用のクラブでボールを打ち、ホールポストにホールインするまで打数を競います。実際、クラブを持ってみますとなかなか思うようにボールが目的地まで打てなく苦戦しました。

ゴルフをアレンジして考案されたというこの競技は、子どもから高齢者また障がい者の方も、参加したその日から楽しむことが出来るスポーツだと感じました。

新年度も、会員との連携をとり、各障害者スポーツ団体や地域のさまざまな場所、場面で指導員が活躍・活動できますようスキルアップを図りながら障害者スポーツの資質向上を目的とし、実技研修会を予定しておりますので、多数参加して下さいますようお願いいたします。

＊後日参加されました会員の方から、参加して良かったと感想等を述べたお葉書が事務局に届きました。ありがとうございました。

実技研修会に参加して “初体験のグラウンドゴルフ”

障害者スポーツ指導員　三　戸　　学

五月晴れの下、平成２５年度第１回実技研修会が秋田県勤労身体障害者スポーツセンターのグラウンドで行われました。

私は、初めてグラウンドゴルフを体験しました。最初、思いきり打つとボールが遠くに転がり過ぎたり、反対に力を加減して打つと転がらなかったりして、力の加減の難しさを感じました。また、でこぼこや芝生で、ボールの方向が変わりました。なかなか思った所にボールが行きませんでした。

少しずつ慣れてくると、狙った所にボールを打ちたいと思うようになりました。上手に打つと喜び、狙ったところにボールが行かないと溜息がでました。段々とエキサイトしてグラウンドゴルフに夢中になってしまいました。数人のグループで、各コースを回りました。「ナイスショット」「ドンマイ」など、自然に仲間同士で声を掛け合っていました。

ボールがゲートを通過したとき「おめでとう」と拍手で仲間を称え会いました。他のグループの方からも、励ましの声掛けがあり、和気藹々の雰囲気でコースを回ることができました。楽しい時間ありがとうございました。

報告　東北ブロック障害者スポーツ研修会に参加して

障害者スポーツ指導員　石　黒　　優

11月３日、山形県総合運動公園Ｐ１会議室で行われました「東北ブロック障害者スポーツ指導者研修会」に参加してきました。当日はコンサドーレ山形の試合の日と重なり運動公園は山形県民の熱気あふれる中、日本障害者スポーツ協会の大久保晴美先生と常美恭子先生の講義と演習を学ぶことが出来ました。

大久保先生からは全国障害者スポーツ大会の概要や現状の課題を話していただき「障害者のスポーツの日常化」と言う点で考えさせられました。日頃、私も身体障害者の施設職員として働いていますが、なかなかスポーツを日常化していく事に困難を感じています。

施設を退所してからの人生において、活動する場としてのスポーツのあり方、金銭的な面や活動出来る時間や情報提供の少なさが大きなネックとなっています。先生の話を聞いてなんとか日常化していかなければならないと痛切に思いました。

常美先生の講義では、より具体的な障害者スポーツ大会における競技の適正な障害区分の話と演習を通して、私自身障害者の方達を各大会に送り出している者として、より具体的に大会主催者に提示しなければならない点を学習しました。それと同時に障害者スポーツ指導員として、区分判定の役割もきちんと出来る人材にならなければと、痛切に感じました。一日の講義だけで残念でしたが、より指導員としての役割を認識しました。

障害者スポーツ指導員になって

障害者スポーツ指導員　　原　田　ゆり子

にかほ市のスポーツ推進委員をやらせていただいて二十年になりますが、市の推進委員の内、私を含めた２名が受講することになりました。お陰様で初級障害者スポーツ指導員の資格を取得することができました。

６月に知的障害者ソフトボール競技大会と、北東北三県社会人サウンドテーブルテニス交流大会の協力依頼を頂き、どんなお手伝いができるのか勉強の意味でお受けしました。ソフトボール大会は、宮城・青森・岩手・秋田の４県が集いました。スタッフ、ボランティアの皆さんは初対面と思えないほど気さくで不安は飛んでしまいました。選手の皆さんも障害があると思えないほどキビキビと楽しそうにプレイをしていました。驚いたのは選手がミスをしてもコーチ、監督誰一人ミスを責めないのです私は指導者の一人として感心させられました

翌週はサウンドテーブル大会に協力させて頂きました。ＳＴＴは視覚障害の方達なのでソフトボールとは全く違った内容でした。

それでも講習会の際にも感じたのですが、考えていたより、あまりにも皆さんスムーズに移動されるので驚きました。試合も障害があると思えません。何がセーフで何がアウトなのかを見て、聞いて、大変勉強になりました。

私と障害者スポーツの関わりは今始まったばかりですが、自分の出来る範囲で障害者の方々の立場を少しでも理解出来るよう、勉強していきたいと思います。

第９回障がい者スポーツ指導者全国研修会に視察員として参加

秋田県障害者スポーツ指導者協議会 事務局長　　佐　藤　涼　子

平成２６年度　第１０回障害者スポーツ指導者全国研修会は１１月２２日(土)～２３日(日)の２日間、福島県立会津大学で開催されます。

開催にあたり平成２５年１１月２３日・２４日の２日間、第９回、北信越ブロック・富山県の富山大学を会場に研修会が開催され、東北ブロックから視察員として１１名が参加しました

「地域から発信～当事者ニーズに合ったスポーツプログラム～」をテーマに開催された研修会には、障害者スポーツ指導員や学生そのほか全国から、約２００名が集いました。

研修内容は第１分科会が四肢まひ車椅子常用者のスポーツプログラム、第２分科会：知的障がい者のスポーツ～効果的な指導方法と支援の方法、第３分科会：脳性まひ者のスポーツ・レクリエーションプログラムづくり、第４分科会：発達障がいのある人のための運動プログラム、第５分科会：高齢障がい者のスポーツ・レクリエーションプログラムづくり、第６分科会：精神障がい者のスポーツ～基本から指導まで～の６分科会に分かれていました。第１分科会には障がいのある方も参加し、研修のなかで受講生と当事者の意見交換の場面もあり、指導者の真剣なまなざしが伺われました。それぞれの分科会を視察いたしましたがどの場面も離れがたい研修内容でした。

今年度の研修会も、研修部会の皆様と東北ブロック実行委員により充実した研修会になるよう努力しております。これまでに無い新たな内容も企画される予定です。会員の皆様へのご案内は、６月以降の発送になります。

多くの指導員のみなさん、お誘いのうえ是非参加下さいますようお願い致します。

お願い

秋田県サウンドテーブルテニスクラブから

障害者スポーツ指導者協議会の皆様へ

秋田県サウンドテーブルテニスクラブでは、平成27年10月に「STTこまち全国大会（仮称）」を開催することと致しました。大会に向け、指導者協議会の皆様からご協力を頂きますようお願い申し上げます。また、審判員が不足しているため、ご協力いただける方を募集しております。練習や内容については下記の連絡先までご一報ください。

心よりお願いいたします。

連絡先　秋田県サウンドテーブルテニスクラブ
携　帯　長澤　０９０－１０６３－９９６８

平成25年度：第2回研修会開催の報告

平成２６年2月２２日（土）、秋田県社会福祉会館において２５年度第２回研修会は４５人の会員が参加し開催されました。

午前中は「障害者の心と行動―障害特性を踏まえた対応をするために」をテーマに、秋田県立リハビリテーション精神医療センターに勤務されております、看護師後藤正子氏が現場からの体験を交えた説明で、障害を持っている方たちにどう対応すればいいか、対応の仕方や介助方法等貴重なお話を伺うことが出来ました。

午後からは実技研修に移り秋田県ビームライル射撃協会の会員４名の指導のもと、ビーム・ライフルとビーム・ピストルについて学び体験しました。

お知らせ

第１４回全国障害者スポーツ大会：知的障害者バスケットボール競技、北海道・東北ブロック予選会が平成２６年５月３１日（土）～６月１日（日）の両日、秋田市立体育館で開催されます。

当協議会に標記大会の派遣依頼がありましたのでご協力宜しくお願いいたします。詳細は後日ご連絡いたします。

平成25年度年会費納入についてのお願い

年会費（１，０００円）につきましては、会員の皆様のご協力を頂きありがとうございます。納入期限は過ぎておりますが、未納のかたは速やかに納入して頂きますよう、宜しくお願い申し上げます。

＊振り込み用紙紛失の場合は郵便局に備え付けの用紙でも納入することが出来ます。
納入先は次のとおりです。

納入先　秋田中央郵便局　口座番号 ０２２１０－７－９４３９０
秋田県障害者スポーツ指導者協議会

編集後記

今回の発行に際し、お忙しい中ご寄稿のご協力いただきました皆様には、心から感謝申し上げます。今後ともご支援、ご協力をお願い致します。（佐藤　涼子）